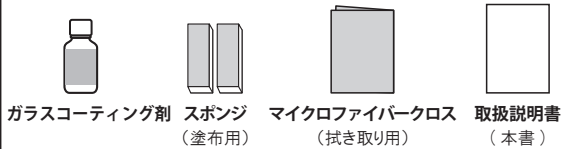


はじめにご確認下さい。

【内容物】



ガラスコーティング剤 スポンジ (塗布用) マイクロファイバークロス (拭き取り用) 取扱説明書 (本書)

【ご用意いただく物】

ゴム手袋、保護眼鏡、保護衣

【施工前のご注意】

- ◎必ずよく振ってからご使用下さい。
- ◎使用する前に液の状態を確認して下さい。
気温が極端に低いと粘度が上がリ、施工が行いにくくなる場合があります。
そのような場合は、お湯で湯煎するなどして温めて下さい。
(湯煎はビン内部に水が入らないように蓋をしっかりとしてから行ってください)
粘度が柔らかくなります。

【施工不可の箇所について】

- ◎ガラス、ゴム部分は施工できません。ご注意ください。

施工方法

【ドライ施工方法】

- ①洗車などを行い油分やコンパウンド・洗剤等を十分に除去し、コーティング施工前処理を行います。
- ②水分を拭き取り施工箇所を完全に乾いた状態にします。
- ③コーティング剤をスポンジに適量染み込ませ、塗り損じのないように縦横直線的に隙間なく塗り込みます。
- ④夏季は3分～8分、冬季は10分～20分、20℃前後の気温では、およそ10分程度放置します。
- ⑤付属のマイクロファイバークロスで拭き取ります。
拭き取りの際に滑水させたい方向に拭き上げるにより、その方向の滑水性能が向上します。
- ⑥部分毎に④～⑤の作業をくりかえし、車全体に塗布します。
※拭き残しのないように十分に注意しながら拭き上げて下さい。

【注意点】

- ※放置時間が長すぎると拭き取りが重くなります。万が一硬化しても研磨剤(コンパウンド)などで除去可能です。
除去した部分に再度施工を行って下さい。
- ※放置時間は目安です。
施工環境により、夏季、冬季に関係なく湿度と温度により変化しますので各施工環境に応じて放置時間の設定を行って下さい。

必ずご確認ください。

【取り扱い上のご注意】

- ◎人体に害があるので 飲用及び吸引しないで下さい。
- ◎有機溶媒で可燃性ですので、決して熱源・スパーク及び火気には近づけないで下さい。
- ◎用途以外には使用しないで下さい。
- ◎取扱作業所には局所排気を設け、発散した蒸気を吸い込まないようにして下さい。
- ◎皮膚に触れないようにし、保護手袋・保護衣・保護眼鏡を着用し、必要があればマスクを着用して下さい。
- ◎取扱後は手洗い及びうがいを十分に行ってください。
- ◎製品の性質上、開封後は徐々に劣化します。なるべく早く使い切ってください。
- ◎製品を別の容器へ移したり、転倒又は落下させたりして衝撃を与えないで下さい。

【応急処置】

- | | |
|-----------|--|
| 吸入した場合 | 直ちに使用を中止し、新鮮な空気のある場所へ移動し呼吸しやすい姿勢で休息して医師による診断と医療処置を受けて下さい。 |
| 皮膚に付着した場合 | 直ちに石鹸及び水で洗い流し、付着した衣類・靴などを速やかに脱いで下さい。刺激が続く場合は速やかに医師による診断と医療処置を受けて下さい。 |
| 目に入った場合 | 直ちに大量の清水でまぶたの裏まで数分間よく洗い流し、速やかに医師による診断と医療処置を受けて下さい。 |
| 飲み込んだ場合 | 無理に吐かず、口をすすいで速やかに医師による診断と医療処置を受けて下さい。 |
| こぼれた場合 | 保護具を着用して適切に処理して下さい。 |

【保管及び廃棄方法】

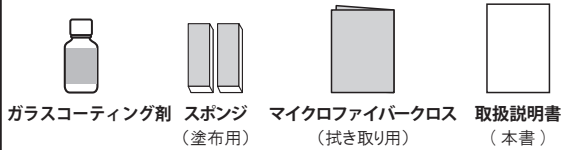
- ◎保管の際は密栓し、換気の良い乾燥した冷暗所に保管の上、高温物に近づけないで下さい。
- ◎商品到着後1年以内にご使用下さい。
- ◎子供の手の届く所に置かないで下さい。
- ◎廃棄の際は法令に従い、中身を使い切ってから廃棄処理して下さい。

火気厳禁 **要冷暗所**
第四類 第三石油類(非水溶性) 危険物等級III



はじめにご確認下さい。

【内容物】



【ご用意いただく物】

ゴム手袋、保護眼鏡、保護衣

【施工前のご注意】

- ◎必ずよく振ってからご使用下さい。
- ◎使用する前に液の状態を確認して下さい。
気温が極端に低いと粘度が上がリ、施工が行いにくくなる場合があります。そのような場合は、お湯で湯煎するなどして温めて下さい。
(湯煎はビン内部に水が入らないように蓋をしっかりとしてから行ってください)
粘度が柔らかくなります。

【施工不可の箇所について】

- ◎ガラス、ゴム部分は施工できません。ご注意ください。

施工方法

【セミウエット施工方法】

- ①洗車などを行い油分やコンパウンド・洗剤等を十分に除去し、コーティング施工前処理を行います。
- ②水分を拭き取り施工箇所を完全に乾いた状態にします。
- ③乾いた状態からパネル毎に霧吹きなどで水分を噴霧し、タイプゼロをスポンジに適量出し縦横満遍なく塗り込んでいきます。
※施工するパネルにスプレーで水を噴霧し、施工面をセミウエット状態にして施工し、タイプゼロを水の作用により分子を分解させ塗装面と結合定着させます。
※噴霧する水に純水を使用するとコーティング被膜の安定性が向上します。
- ④夏季は2分～5分、冬季は5分～15分、20℃前後の気温では、およそ5分程度放置します。
- ⑤付属のマイクロファイバークロスで拭き取ります。拭き取りの際に滑水させたい方向に拭き上げることによりその方向の滑水性能が向上します。
- ⑥部分毎に④～⑤の作業をくりかえし、車全体に塗布します。
※拭き残しのないように十分に注意しながら拭き上げて下さい。

【注意点】

- ※放置時間が長すぎると拭き取りが重くなります。万が一硬化しても研磨剤(コンパウンド)などで除去可能です。
除去した部分に再度施工を行って下さい。
- ※放置時間は目安です。
施工環境により、夏季、冬季に関係なく湿度と温度により変化しますので各施工環境に応じて放置時間の設定を行って下さい。

必ずご確認下さい。

【取り扱い上のご注意】

- ◎人体に害があるので 飲用及び吸引しないで下さい。
- ◎有機溶媒で可燃性ですので、決して熱源・スパーク及び火気には近づけないで下さい。
- ◎用途以外には使用しないで下さい。
- ◎取扱作業所には局所排気を設け、発散した蒸気を吸い込まないようにして下さい。
- ◎皮膚に触れないようにし、保護手袋・保護衣・保護眼鏡を着用し、必要があればマスクを着用して下さい。
- ◎取扱後は手洗い及びうがいを十分に行ってください。
- ◎製品の性質上、開封後は徐々に劣化します。なるべく早く使い切ってください。
- ◎製品を別の容器へ移したり、転倒又は落下させたりして衝撃を与えないで下さい。

【応急処置】

- 吸入した場合** 直ちに使用を中止し、新鮮な空気のある場所へ移動し呼吸しやすい姿勢で休息して医師による診断と医療処置を受けて下さい。
- 皮膚に付着した場合** 直ちに石鹸及び水で洗い流し、付着した衣類・靴などを速やかに脱いで下さい。刺激が続く場合は速やかに医師による診断と医療処置を受けて下さい。
- 目に入った場合** 直ちに大量の清水でまぶたの裏まで数分間よく洗い流し、速やかに医師による診断と医療処置を受けて下さい。
- 飲み込んだ場合** 無理に吐かず、口をすすいで速やかに医師による診断と医療処置を受けて下さい。
- こぼれた場合** 保護具を着用して適切に処理して下さい。

【保管及び廃棄方法】

- ◎保管の際は密栓し、換気の良い乾燥した冷暗所に保管の上、高温物に近づけないで下さい。
- ◎商品到着後1年以内にご使用下さい。
- ◎子供の手の届く所に置かないで下さい。
- ◎廃棄の際は法令に従い、中身を使い切ってから廃棄処理して下さい。

火気厳禁 **要冷暗所**

第四類 第三石油類(非水溶性) 危険物等級Ⅲ



ご使用いただくにあたり、必ずこちらもご確認ください。

【ドライ施工、セミウエット施工について】

・ドライ施工

ドライ施工は、コーティングについて経験のあるお客様におすすめする施工方法です。
セミウエット施工より耐久性に優れていますが、
湿度や気温により放置時間の調節が難しく、力強くふき取る必要があります。

経験者向け

耐久性◎

使用量 - 多

・セミウエット施工

セミウエット施工は、ドライ施工より耐久性に劣りますが、すべりが良く塗りやすくなります。
また消費量が少ないため、余裕を持って施工することができます。
初めてコーティングを施工されるお客様におすすめする施工方法です。

初心者向け

耐久性○

使用量 - 少